

京都生きもの100選の選定について

1 京都生きもの100選

「京都市生物多様性プラン～生きもの・文化豊かな京都を未来へ～」のリーディング事業であって、市民等から寄せられた四季折々に見られる植物、昆虫、動物等、身近な自然に関する情報を、平成27年度中に「京都生きもの100選」（以下「100選」という。）として取りまとめるもの。

2 100選の選定スケジュール

平成26年度から着手した100選の全体スケジュールは、図のとおり。

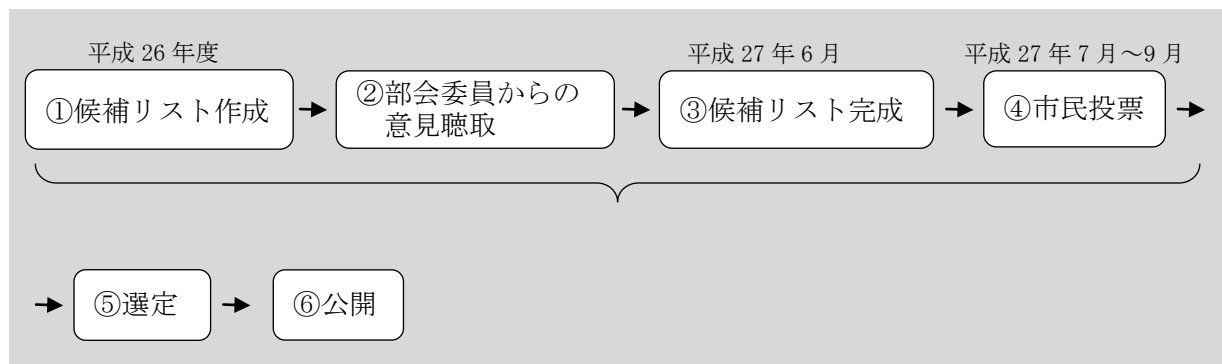


図 選定スケジュール

(1) 100選候補の選定

昨年実施した自然環境現況基礎調査により、本市に生息する生きものや生育環境保全の取組などに関する情報収集を行い、その情報を「生物多様性保全検討部会」（以下「部会」という。）の委員の皆様から意見を聴取したうえで、3つの区分※に分けた197件を選定候補としてリストアップした。

※ 区分

- ① 京都市の生物多様性の保全上重要な生きものやその生息・生育場所（111件）
（例）深泥池
- ② 京都市内の生物多様性保全に関する市民や事業者の取組（16件）
（例）フタバアオイの保全活動
- ③ 京都市の観光や伝統文化を支える生物多様性の情報（70件）
（例）おけら詣りのオケラ

(2) 市民等による投票の実施

197件の100選候補の中から、市民の皆様にとって身近に感じる自然や大切に残したいと思う生きもの等について意見を募るため、以下のとおり、市民投票を実施した。

〔投票期間〕

平成27年7月1日午前9時～9月30日午後5時

〔投票方法〕

(ア) 京都市の生物多様性専用ホームページ「京・生きものミュージアム」を活用したインターネットによる投票

(イ) 市役所（環境管理課）及び各区役所・支所のエコまちステーションの窓口での投票

〔投票のルール等〕

(ア) 無記名投票

(イ) 投票は、期間中、一人1回

(ウ) 一人につき、最大10点まで投票可能

(エ) 同じ候補に複数票を投じることはできない

(3) 投票結果

京都市内で四季折々に見られる生きもの等、身近な自然に関する情報197件を100選候補としてリストアップし、選定候補の中から市民投票を実施した結果、以下のとおり多くの市民の皆様にご参加いただいた。

(ア) 投票人数 2,632人（うち窓口での投票者85人）

(イ) 総投票数 24,754票

3 投票結果を踏まえた100選候補の選定について

市民の皆様にとって身近に感じる自然や大切に残したいと思う生きもの等について投票していただいた結果を、最大限尊重する趣旨から、以下の方法で選定中である。

(1) 総投票数の9割が投じられた上位72件の候補については、市民投票枠からの選出とし、原則として100選に選定。

↓

(2) 部会において、73位から100位までを優先的な選定候補としつつ、それ以降のものも含めて、専門家の立場から100選として選出すべきものを審議いただき、部会枠として選定。

↓

(3) (1)の「市民投票枠」及び(2)の「部会枠」を合わせた概ね100件を、最終的な100選として選定。

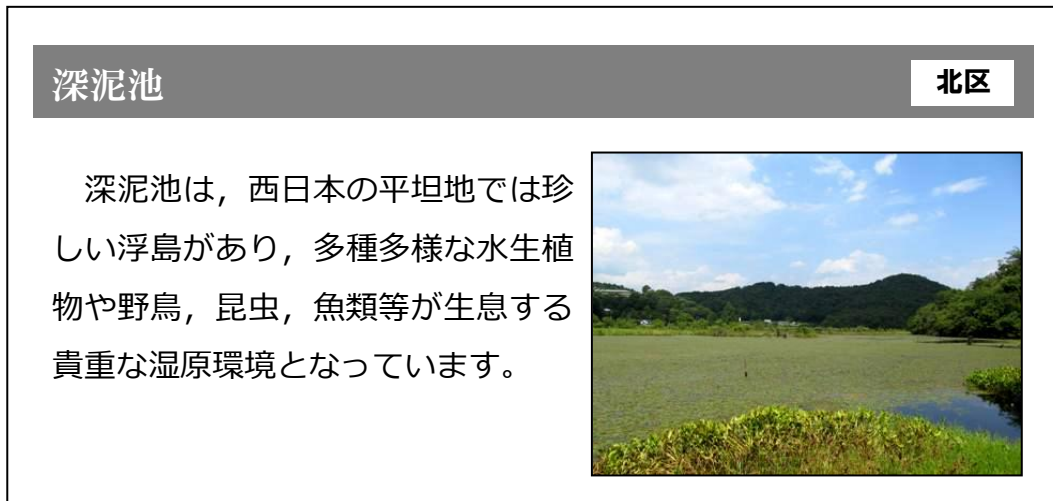
(参考1) 京都生きもの100選 選定候補一覧表

4 今後の予定について

100選の選定により、より多くの市民等の皆様にとって、生物多様性に触れる機会が増えるよう、更には100選の保全活動への参加につながるよう、以下の取組を進めていく。

- (1) 生物多様性専用ホームページ「京・生きものミュージアム」及び「京都市情報館」に掲載する。

[ホームページでの公開イメージ]



- (2) 選定された100選を、順次「京の生きもの発見ガイド^{みやこ}※」に掲載するほか、自然観察会「親子生きもの探偵団」等で活用する。

〔※ 子どもたちが本市の豊かな自然に触れ、様々な生きものを知り、親しむことを目的として、市内で見られる生きものを紹介する冊子（毎年度発行予定）〕

- (3) 関係団体等との連携により、民間広報紙等への掲載やパネル展示など、様々な機会を捉えて市民への周知に努める。